

平成23年度事業報告について

1 児童虐待防止シンポジウム開催事業

平成23年6月には、政策動向の理解を深めることを目的に、児童福祉施設最低基準等の見直しに至る経緯やその内容を検討し、社会的養護にかかわる各分野から基準等見直しの意義や課題などを検討するシンポジウムを開催した。平成24年1月には、児童虐待への理解の向上と対応力の向上を目的に、近時の児童虐待防止に関するさまざまな自治体・民間のさまざまな取り組みを紹介するシンポジウムを開催した。

◆ 第16回シンポジウム

テーマ 「社会的養護の新たな役割と展望」
ー児童福祉施設最低基準、里親ガイドラインの見直しを中心にー

日時 平成23年6月5日(日)

会場 全国社会福祉協議会 灘尾ホール

参加者 約200名

内容 基調講演・シンポジウム

◆ 第17回シンポジウム

テーマ 「子ども虐待防止に向けた取り組みの現状と課題」
～行政・民間団体・企業・個人など多様な連携の推進～

日時 平成24年1月28日(土)

会場 発明会館

参加者 約120名

内容 基調講演・シンポジウム



2 児童虐待防止啓発活動事業

児童虐待防止について広く啓発し、オレンジリボンを胸に付けることで児童虐待防止を呼び掛ける目的で活動を幅広く行った。

◆ ポスターコンテスト事業

一般市民への啓発のため、全国の方からデザインを募集しオレンジリボン運動のポスターを作成。また、参加団体・企業と共にオレンジリボン運動ポスター約10,000枚を掲出した。

- 実施時期 : 募集…3月~5月、選考6月、表彰…11月(市民集会にて)
- 内容 : 最優秀賞10万円を1名・優秀賞3万円を2名、ほか企業賞を設定し、美術系の専門学校・大学等を中心に応募を呼び掛けた。審査員が作品を選考し、1次審査通過者には記念としてオレンジリボンストラップをお送りした。また表彰は11/20に開催された市民集会で行った。
- 選考したデザインを活かしてポスターを作成し関係機関等に配布、活用を通じて虐待防止の啓発につなげた。



◆ イベント等共催事業

支援団体と協力して児童虐待防止の啓発を行った。23年度は11団体(全国で11か所)の協力を得て啓発活動を行った。

- 実施時期 : 23年度中
- 内容 : 各地の支援団体とイベント等を共催し、企画・広報等の支援をするとともに開催経費を一部負担した。

UDONプロジェクトチーム キャラクターショー
明日の社会的養護を考える里親の会「虹の架け橋」講演会(2回)
益城ルネサンス熊本フットボールクラブ コンサート・グッズの配布
ながの子どもを虐待から守る会 啓発のためグッズの配布/講演会
子どもを虐待から守る会・まつもと 松本城ライトアップ、シンポジウム
CFRびわこ 映画「葦牙」上映会
NPO 岡山市子どもセンター 映画「葦牙」上映会、風船の配布にて啓発
子どもすこやかサポートネット 子どもの権利推進シンポジウム
NPO IT支援センター 講演会
NPO 子ども劇場笠岡センター 映画上映会
NPO 和歌山子どもの虐待防止協会 講演会

◆ オレンジリボンたすきリレー等共催事業

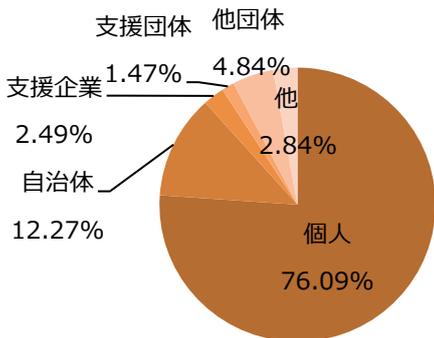
オレンジリボンたすきリレーの実施に協力し、児童虐待防止の啓発を行った。

- 実施時期 : 児童虐待防止月間(11月)を中心とした期間
- 内容 : オレンジリボンたすきリレーなどのイベントを共催し、企画・広報等の支援をするとともに開催経費を一部負担した。また、渋谷ハチ公前広場のモニュメントにおいて展示。

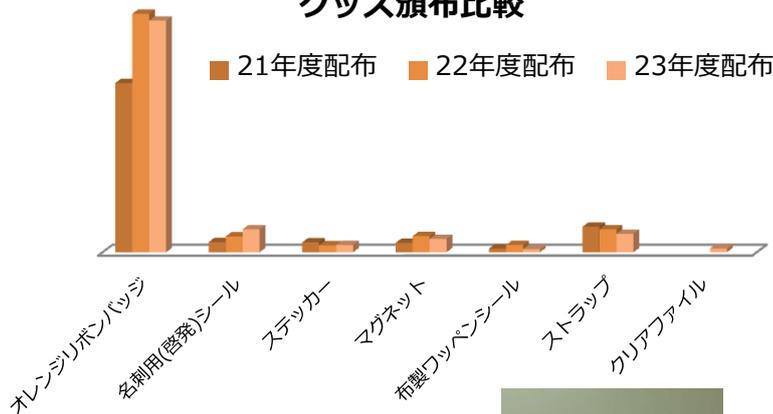
◆ ツール作成・配布

オレンジリボン運動の啓発ツールとして、布リボン、チラシ、ポスター、啓発冊子、バッジ、ストラップ、ステッカー、マグネット、マスク等を作成、配布し、児童虐待に関する啓発を行った。24年2月に新しいグッズとしてクリアファイルを作成した。また新しい試みとしてオレンジリボンカレンダーを制作。支援団体・企業、児童相談所等へ配布するとともに一般へ呼びかけ、1,500部配布した。

グッズ頒布件数の割合



グッズ頒布比較



<グッズ頒布数推移>

ツール	21年度	22年度	23年度
オレンジリボンバッジ	28,358	39,980	38,836
名刺用(啓発)シール	1,724	2,661	3,850
ステッカー	1,662	1,172	1,213
マグネット	1,581	2,709	2,241
布製ワッペンシール	628	1,229	517
ストラップ	4,281	3,849	3,095
クリアファイル	-	-	635



◆ 春のオレンジリボンキャンペーン

児童福祉週間(5月)を中心にオレンジリボンを付けようと呼びかけた。また、個人サポーターへオレンジリボンポスター掲出のお願いをし、600枚が掲出された。全国的にオレンジリボンの着用を呼びかけ、11月のみならず市民の参加意識を高められるよう児童虐待防止の啓発をした。

- 実施時期 : 平成23年5月1日～31日
- 内容 : 個人サポーターを中心に支援企業・団体へのツール配布、オレンジリボン着用、ポスター掲出の呼びかけ等、広報啓発活動を実施した。

◆ 全国一斉オレンジリボン街頭配布

児童虐待防止月間の主催イベントとして、全国各地でツールの配布等、オレンジリボン運動の啓発活動を行う。

- 実施時期 : 平成23年11月3日(木祝)を中心にその前後で実施。
- 内容 : 駅前等の公共の場所を中心にマスク、布リボン、チラシを配布するとともに、のぼり旗や声かけなどで児童虐待防止について啓発・呼び掛けを行った。

協力64団体

日本子どもの虐待防止民間ネットワーク様、NPO法人 児童虐待防止協会様、ながの子どもを虐待から守る会様、NPO法人しあわせメンタースクール様、NPO法人JOY HEART様、滋賀短期大学様、東京未来大学様、NPO法人和歌山子どもの虐待防止協会様、CFRびわこ様、NPO法人AI様、NPO法人チャイルドケアセンター大野城様、NPO法人子どもの虐待防止ネットワークしが様、NPO法人オレンジリボン子育て支援団体Mother of pearl様、株式会社SOBO様、株式会社富士テックス様、株式会社コミットコーポレーション様、大和商事株式会社様、レジェンデ・コミュニケーションズ様、カンガルー小山様、NPO法人里親支援のアン基金プロジェクト様、全国社会福祉協議会 児童福祉部 全国児童養護施設協議会様、NPO法人岡山市子どもセンター様、有限会社グローバルサービス様、財団法人ちどり保育園様、NPO法人地区子育て支援センター様、Books & cafe Wonderland様、こどもの寺童楽寺(童楽寺ホーム)様、ポートルース鳴門様、子どもを虐待から守る会まつもと様、京都防犯鑑定協会様、財団法人児童健全育成推進財団様、京都キワニスクラブ様、株式会社トップワイジャパン様、株式会社NEWS様、株式会社安心ダイヤル様、NPO法人子どもの虐待防止ネットワークかがわ様、日本総合探偵事務所様、社団法人子ども情報研究センター様、青森県歯科医師会 上十三支部会様、社会福祉法人愛和会 中筋児童館様、株式会社昌大様、児童家庭支援センターシャローム様、株式会社ゴルフ・ドゥ様、NPO法人子どもすこやかサポートネット様、有限会社エッグプランニング様、株式会社イージェット様、有限会社アド・フューチャー様、メッセージオフィスFuwari様、NPO法人タッチ・コミュニケーション協会様、エイチエーライフジャパン株式会社様、学生団体日本社会福祉学生会様、青森明の星短期大学、NPO法人次世代たかねざわ様、社会福祉法人菅田会 菅田養徳園様、NPO法人ひとり親自立支援ALIVE様、宇津救命丸株式会社様、株式会社ラブアンドピース様、サッポログループマネジメント株式会社様、NPO法人子育てパレット様、大蔵六四会様、TSA株式会社様、株式会社マルチミレンタ様、CAPS・すわ様、株式会社ハウスサポート様 (順不同)



児童虐待防止全国ネットワークとして

- 実施日：平成23年11月3日(木・祝)
- 実施場所：東京都中央区銀座数寄屋橋交差点
- 内容：オレンジボン委員、個人サポーター、事務局、総勢35名にて、オレンジボンTシャツを着用し、マスク15,000枚を配布、のぼり等を立て休日の大勢の人が行きかう中、オレンジボンの啓発を行った。



◆ 市民集会事業

児童虐待によって失われた子どもの命を悼み、児童虐待防止を啓発することを目的に市民集会とパレードを行った。

日時 平成23年11月20日(日)
 会場 日比谷公会堂
 内容 第9回子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会 & パレード
 子ども虐待防止オレンジボン運動 ～今、私たちにできること～
 当日は、小宮山厚生労働大臣にもご挨拶をいただき、虐待で大切な命を失ってしまった子どもたちを悼み、虐待で苦しむ子どもたちに思いを馳せ、虐待のない社会にしていこう！という思いをアピールし開催した。参加者それぞれの思いや願い、意見などを記入したカードをボードに貼付けて、「決意と願いのツリー」を作り上げた。(決意と願いのツリーは、後日、厚生労働省1階ロビーにて展示)
 市民集会、パレード(日比谷公会堂～銀座～東京駅周辺～常盤橋公園)



◆ 子ども虐待防止のための講演、研修および取材
 <新聞、TV、雑誌の取材>

日付	媒体	タイトル	内容
4月号	自由民主党 月間女性誌「りぶる」	ハッピーオレンジボン運動	児童虐待に関する民法改正
4月28日	聖教新聞	ストップ児童虐待	吉田理事長取材
6月6日	しんぶん赤旗	入所6割 被虐待児	6月5日シンポジウム
9月1日	北海道新聞	多羽田さん最優秀賞	公式ポスターコンテスト
10月29日	リビングかしわ	11月は児童虐待防止月間	11月20日集会とパレード告知
11月20日	NHK NEWS	児童の虐待死を悼む市民集会	11月20日集会とパレード
11月21日	しんぶん赤旗	子ども虐待防止へ	11月20日集会とパレード
11月22日	ducare (日経新聞出版社発行)	0歳からやっておきたい教育	虐待の現状と防止の方法
11月28日	福祉新聞	虐待死55人の子を悼む	11月20日集会とパレード
2月6日	福祉新聞	在宅支援にも注力	1月28日シンポジウム
2月号/3月号	東日本遊戯機商業協同組合 広報誌「Toyusho」	知っコ!!オレンジボン運動	児童虐待の現状とオレンジボン運動の活動

<講演会・研修会等への講師派遣>

日付	内容
11月13日	「子どもの権利条約フォーラムin広島」の分科会 「子どもに対する暴力の現状と課題ー今、大人がすべきこと、子どもにできること」に登壇
11月20日	港区児童虐待防止シンポジウム「ババカ(ぢから)が家庭も地域も変える」に登壇
1月13日	足立区「NPO法人ぶらちなくらぶ」の「叩かない子育て～子どもを育む叱り方ワークショップ～」にて講師
3月29日	江戸川青年会議所での研修

3 目的を同じくする団体との連携事業

◆ 日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)との連携

平成23年12月2日～3日に開催された学会の定例大会時に、資料配布用にオレンジボン不織布バッグを提供し協力した。

◆ 子ども虐待防止に先駆的・開拓的または研究的な取組みを行っている団体に対し、経費を含まさまざまな助成をし、当該団体と連携した子ども虐待防止の推進を図った。(東京2団体、愛知・新潟・兵庫/各1団体、計5団体)